

平成30年度 訪問看護関連事業の実績について (平成31年3月19日時点)

医療・介護保険局 介護保険課

医療政策局医師・看護師確保対策室

<事業一覧>

	事業名	事業・取組内容	補	委	他	平成30年度 所管課
1	訪問看護ステーション人材確保支援事業 (補助金交付先：奈良県訪問看護ステーション協議会)	インターンシップ導入の支援	●			医師・看護師確保対策室
		プリセプターによる現場指導の支援	●			
2	介護人材確保対策支援補助事業 (補助金交付先：奈良県訪問看護ステーション協議会)	多職種連携会議	●			長寿・福祉人材確保対策課
		管理者研修	●			
		訪問看護教育ステーション	●			
3	奈良あんしんネットを軸とした連携 (奈良県訪問看護ステーション協議会の一部会員により試行)				●	医師・看護師確保対策室
4	訪問看護推進事業 (委託先：奈良県看護協会)	訪問看護師養成講習会		●		医師・看護師確保対策室
		退院支援看護師養成研修		●		
5	看護職員資質向上推進事業 (補助金交付先：各病院、各ステーション) (委託先：奈良県看護協会)	看護職員資質向上支援事業	●			医師・看護師確保対策室
		実習指導者講習会事業		●		
6	在宅医療看護人材育成支援事業 (交付先：奈良県立医科大学)		●			医師・看護師確保対策室
7	訪問看護ステーション（大規模化）開設準備経費等支援事業 (補助金交付先：各ステーション)		●			介護保険課

1 訪問看護ステーション人材確保支援事業（補助金）

- **インターンシップ導入の支援（交付先：一般社団法人奈良県訪問看護ステーション協議会）**
学生の訪問看護に対する理解促進や就職促進を目的に、インターンシップ生（看護学生）を受け入れた訪問看護ステーションに対する補助（定員 20 人、目安受入日数 10 日／人）

〈受入学生数〉8 人（1 大学より 4 人、2 養成所より 4 人） **（定員を下回る結果）**
〈平均日数〉6.6 日間／人

〈課題〉

学校等への周知期間、スケジュール調整期間等の確保
事業内容や目的、参加対象となる学生の定義などに関する学校等への十分な説明

〈学生の声〉

- 地域における訪問看護の存在の大きさと必要性を学ぶことができた。
- 在宅療養者を支えるためには多職種間の連携が重要であることを、見て、聞いて、体験して感じる事ができた。
- 訪問看護師が療養者個々に合わせたサービスを提供する姿を見て、「療養者第一主義」の考え方や信念を感じる事ができた。
- （病院での実習では学べなかったが、）患者の調子や家族の状況、希望を把握することは、退院後の生活を見据えるため、入院時においても行うことが重要だと思った。
- 訪問看護は療養者の生活を長期的に見守り支援するものであるため、トータルケアが必要であり、何より人間関係を築くことが大切だと思った。

- **プリセプターによる現場指導の支援（交付先：一般社団法人奈良県訪問看護ステーション協議会）**
初めて訪問看護に従事する看護師の定着を目的に、プリセプターによる同行訪問などの現場指導を行った訪問看護ステーションに対する補助（定員 20 人、期間 3 か月）

〈対象者数〉19 人（15 事業所）

保健医療圏	事業所数	人数
奈良保健医療圏	4 箇所	5 人
東和保健医療圏	2 箇所	3 人
西和保健医療圏	5 箇所	5 人
中和保健医療圏	3 箇所	5 人
南和保健医療圏	1 箇所	1 人

〈平均同行時間〉
353.3 時間／人

2 介護人材確保対策支援補助事業（補助金）

■ 多職種連携事業（交付先：一般社団法人奈良県訪問看護ステーション協議会）

① 多職種連携会議・訪問看護相互連携会議

地域包括ケアシステムにおける多職種の役割や連携方法を理解することを目的とした、講演や事例研究などの実施に対する補助（同日午前には管理者のグループワークを実施）

〈講演テーマ〉「在宅医療を充実させるため多職種のスキルアップを目指して」

天理よろづ相談所病院 在宅世話どりセンター長 中村 義徳 氏

「ストーマケアの実際」

済生会御所病院 看護師長 皮膚排泄ケア認定看護師 前川 和代 氏

〈グループワークテーマ〉「働きやすい職場づくり」

保健医療圏	事例研究 参加者数	参加者詳細	グループワーク 参加者数
奈良保健医療圏	46人	医師、看護師、薬剤師、作業療法士、 介護支援専門員	17人
東和保健医療圏	27人	医師、看護師、保健師、社会福祉士、 介護支援専門員	9人
西和保健医療圏	40人	看護師、保健師、社会福祉士、介護支援専門員、 薬剤師	16人
中和保健医療圏	36人	10訪問看護ステーション、9病院、 1居宅介護事務所	16人
南和保健医療圏	19人	看護師、ケアマネ、社会福祉士、PT、OT	10人
	168人		68人

② 認知症介護士セミナー

高齢社会において、認知症患者が安心できる環境や地域を推進するため、高齢社会や認知症に対する理解促進を目的とし、ボランティア活動者等を対象とした講義やグループワークの実施に対する補助

〈テーマ〉「認知症である人々が安心して街中に出てきていただける環境をつくること」

実施場所	人数	検定テスト受験者	検定テスト合格者
奈良市内	17人	9人	9人
橿原市内	29人	11人	11人
	46人	20人	20人

■ **管理者研修事業（交付先：一般社団法人奈良県訪問看護ステーション協議会）**

質の高い訪問看護サービスを効率的、安定的に提供するために必要な知識、技術を学ぶことを目的とした管理者研修の実施に対する補助

	研修内容及び講師	参加者数
1	「奈良県の医療提供体制の現状と課題解決に向けた県の取り組み」 等	43 人
	「脳卒中における看護について」	46 人
2	「訪問看護事業所運営を見直し（リスク管理を中心に）」	50 人
	「医療・介護報酬改定後の請求の確認について」	68 人
3	「訪問看護のリスクマネジメントの実際」	44 人
	「人生最終段階における医療・看護について～看護師・家族の立場から～」	45 人
4	「看護研究の実際～私のしたい訪問看護～」	29 人
合計		325 人

■ **訪問看護教育ステーション（交付先：一般社団法人奈良県訪問看護ステーション協議会）**

圏域ごとに予め訪問看護ステーション協議会が指定した事業所が、訪問看護ステーション職員、多職種、地域住民を対象に、電話、面談等による相談対応やコンサル、同行訪問、地域住民への周知・理解促進、連携等を実施することに対する補助

	所在市町村名	相談コンサル	同行訪問	地域への理解促進	連携（勉強会）
A 訪問看護ステーション	奈良市	1 回		1 回	
B 訪問看護ステーション	桜井市	3 回		1 回	2 回
C 訪問看護ステーション	生駒市		3 回	1 回	2 回
D 訪問看護ステーション	香芝市	2 回	2 回	2 回	3 回
E 訪問看護ステーション	大淀町	9 回	4 回	6 回	6 回
		15 回	9 回	11 回	13 回

3 奈良あんしんネット（完全非公開型 医療介護連携 SNS）を軸とした連携

ステーション間のコミュニケーションや対応困難ケースの引継、人材の融通などの円滑化を目的に、奈良市医師会・大和郡山市医師会が運用する SNS の導入を提案

→奈良市医師会に掛け合い、奈良市内の訪問看護ステーションにおける試験的導入を試みた。

しかし、当該試みは経営や労務にも影響があるため、各訪問看護ステーションにおける 積極的な SNS 活用には至らなかった。

※今後は、新人訪問看護師の合同研修等において訪問看護ステーション間の連携を支援（二次医療圏域ごとの合同研修の実施は、訪問看護コア会議において決定）

4 訪問看護推進事業（委託）

■ 訪問看護師養成講習会（委託先：公益社団法人奈良県看護協会）

訪問看護を担う人材の育成・確保及び看護の質向上を図るための研修を実施

〈訪問看護研修ステップ1修了者〉

16人（病院：5人、訪問看護：9人、入居・通所施設、障害者支援施設：2人）

研修内容	受講者	
①訪問看護eラーニング （日本訪問看護財団）	16人	①から③すべて受講した者に 訪問看護研修ステップ1の 修了証発行 実人数16人
②講義・演習（4日間）	125人	
③訪問看護ステーション実習（3日間）	16人	

■ 退院支援看護師養成研修（委託先：公益社団法人奈良県看護協会）

円滑な退院支援が行える必要な知識・スキルを習得するための研修を実施（4日間）

〈受講者数〉 1日目162人、2日目161人、3日目160人、4日目154人

〈同行実習参加者数〉 12人

5 看護職員資質向上推進事業（補助金または委託）

■ 看護職員資質向上支援事業（交付先：各ステーション、病院）

特定行為研修や在宅医療関連分野の認定看護師教育課程等の受講経費を助成する病院等に対する補助

〈分野〉

- ・ 特定行為研修 在宅コース
訪問看護ステーション…3事業所、3人
病院…3病院、3人
- ・ 摂食嚥下障害認定看護師
訪問看護ステーション…1事業所、1人

■ 実習指導者講習会事業〈特定分野実習指導者講習会（在宅看護論）〉

（委託先：公益社団法人奈良県看護協会）

看護師等養成所の実習施設（病院を除く。）において看護学生の指導を行う実習指導者を育成するための講習会

〈受講者数〉6人（訪問看護ステーション：6人、老人保健施設：0人）

6 在宅医療看護人材育成支援事業

県立医大と病院が連携して在宅看護を牽引するリーダーを養成し、県内就業を促進するために設置する奨学金に対し補助（奈良県立医科大学）

〈貸与者等実績〉 3か年で1名のみカリキュラム修了

	新規	継続
H28	2人	-
H29	1人（うち途中辞退1人）	2人（うち途中辞退1名）
H30	0人	0人

※県立医大の第三期中期計画の推進を図るため、事業内容を見直しのうえ廃止。

7 訪問看護ステーション（大規模化）開設準備経費等支援事業（補助金）

（交付先：各ステーション）

訪問看護ステーションの安定した経営と無理のない24時間対応サービスを実現するため、保健師、看護師又は准看護師の増員による事業所の規模拡大の準備に要する経費に対し補助

〈補助実績〉 6事業所に対して補助予定